

# 自彙食だより

変わらぬ伝統と文化

今も

第30号



100年を越えて 新たなステージへ  
まっすぐに!!



ウイニングボールを手にホームベース上に整列する明石ナイン

表紙絵 (ひょうたん池)・山内 愛 (高76回)  
裏表紙絵 (三角池)・安藤 勉 (中18回)  
表紙題字・佐伯 敏裕 (高24回)



ようやく、そしてやっとな



同窓会会長 和田直樹

(高28回)

卒業生の皆様、元気ですか？ようや  
く、そしてやっとなンボウも明けてコ  
ロナも落ち着きを見せてきました。こ  
の後、何波ぶり返しが来るか分かりま  
せんが、願わくばこのまま普通の風邪  
になっていってほしいと思いますね  
とか言ってる間に、母校の創立百周年  
は来年となりました。

去年はコロナの影響で殆どの学年同  
窓会は中止となりました。中でも還暦、  
古希、喜寿、傘寿などの記念同窓会が  
中止、もしくは延期となった学年の皆  
様は残念な思いをされていることしょ  
う。お察し致します。その他の学年も  
含め、今年は創立九十九周年、白寿の年  
でもありますので、来年の百周年に向  
けて大いに学年同窓会を開催して盛り  
上がって頂きたい！（コロナ変異株ぶ  
り返し時除く）

その節は不肖私、もしくは百周年記  
念事業実行委員長の水井さん、もしくは  
は西校長、もしくは三人揃ってご挨拶  
に参りますのでご寄付の方も何卒よろ  
しくお願い申し上げます。

ご寄付の話が出ましたのでその話を  
少々。今度も振込用紙を同封してあり  
ますが、ますふるさと納税があります。  
これは地方税を払って納められる方が、  
二千円の手数料で明高の「教育環境整  
備事業」に税金を寄付出来る、そうい  
う制度です。兵庫県外の方には返礼品  
もあります。

昨年続き、今年と来年の2回お願  
いしたいと考えております。もう一つ  
は税控除等のない、いわゆる寄付です。  
ふるさと納税は使途が限定されてお  
りますので、記念式典等の各種行事は  
こちらの寄付金で賄うこととなります。  
詳しくは同封しております募金趣意書  
をご覧ください。

去年、東京自彊会の役員の方々に  
集まり頂き、現況をご説明に上がりが  
ました。その中で「全然知らん」、「告知  
が足りないんじゃないか」とのお叱り  
を受けました。こうしたご指摘も踏ま  
え、改めて母校の創立百周年に向け  
、皆様のご協力、お力添えをお願いす  
る次第です。

もくじ

会長あいさつ	1
校長あいさつ	2
ひととき	3
学校の取り組み	4
100周年記念事業	5
会社訪問（株）きしろ	6
自彊不息	7
「フォトアルバム」募集	8
学年同窓会交歓	9
美術科支部	10
人事異動	11
進路結果	14
部活紹介	15
栄光を讃える	16
決算・事業報告	17
お悔やみ	18
「ご寄贈」お礼とお願い	19
役員表・編集後記	20

## 時代を生きる



第25代校長

西茂樹

自彊会の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校に対して変わらぬ温かいご支援ご協力を賜り、衷心よりお礼を申し上げます。

この二年間、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、部活動を含めた教育活動の制限、学校行事の見直しや規模の縮小等、多くの制約を余儀なくされましたが、影響を最小限に止め、少しでも通常に近い形を模索しながら学校運営を進めているところです。

今回のコロナ禍で、新たな価値観や生活様式が生まれ、それが潮流となっており、社会も大きな転換点を迎えています。人々を時間や空間、身体的制約から解放するデジタル化の加速、サブライチエーションの国内回帰と分散化、密から疎への地殻変動と地方回帰など、枚挙に暇がありません。教育現場にもその影響は及び、先端技術の効果的な活用が求められてICT教育が急速に進められています。その中心となる施策が「GIGAスクール構想」です。令和四年度入学生から生徒一人一

台端末が導入され、本校では一年生全員がiPadを活用した授業を行っています。例えば、板書の内容は生徒の端末にワンタッチで記録できます。生徒が作成した発表資料をクラス全員が瞬時に端末で共有できます。インターネットで調べながら学習に取り組めます。AI教材で一人一人のレベルに合ったより効果的な学習に取り組めます。このようにひと昔前には想像すらできなかった教育活動がICTの活用により可能となつています。本校に脈々と流れる建学の精神、それは「自強不息」です。これを基盤にして、時代が要請する人材育成のための新たな教育を組み込みながら、地域の信頼に応える学校としてさらに発展できるよう、教職員一同引き続き取り組んでまいります。自彊会の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、本校ホームページや明高だよりを通して学校や生徒達の様子を発信しております。自彊会の皆様にもご高覧いただけたら幸いです。

## 2022年度総会のご案内

この2年、総会を開催できない状況が続きましたが、今年度は左記のように開催を予定しております。

母体を借用しての開催を予定しておりますが、今後のコロナ感染拡大の状況によってはやむなく中止となる場合も考えられます。

総会を中止する場合は、ホームページのお知らせとなりますこと、ご了承願います。この場合、理事会の承認を以って総会にかえさせていただきます。

学年等の同窓会も徐々に計画、準備がなされていると聞こえてきます。一日も早く、安心して皆様が集い、昔話に花を咲かせながら明日への活力を充電できる、そんな時間が持てますことを切に願っております。

## 記

期日 2022年7月2日(土)

場所 明石高校 視聴覚教室(2階)

受付 午前10時から

開始 午前10時30分

- 次第 ① 会長あいさつ  
② 議案審議  
③ 質疑応答  
④ その他



## ひとこぎ

2021年から2022年にかけてはオリンピックイヤーだった。

殊に冬季オリンピックの記憶は新しい。何より話題をさらったのは、フィギュアスケートの羽生結弦選手。これまで誰も飛んだことのない四回転アキセルへの挑戦は、さまざまに形を取り上げられた。そして口々に誉め、しかし本人の「努力は報われないのかな」という一言が私の胸にささった。「そんなことはいらないよ、努力したから今があるのよ」と言いたかった。彼の滑っている姿は美しく、優雅に見えるを魅了する。メダルに關係なく滑っていて欲しいと願わずにはいられない。

また、カリーニングのチーム、ロコソラーレの5人もはらはらさせられながらも応援してしまふ。彼女たちがお互いを認め合う声かけに明るさや素直さを感じ、彼女たち同様に何事も前向きにと思える。スキージャンプの高梨沙羅選手の一途にもまじり取り組む姿勢や他への思いやりにも心打たれた。

確かに、競技に出場する目標は優勝であったり、メダル獲得であるだろう。でも思わず応援し画面に見入ってしまう、そして心癒されるのは面つとだけではないように思う。競技への愛情を感じ、努力を讃え、穏やかな気持ちにしてくれたい。オリンピックだけなく、パラリンピックでも同様に声援を送り、勇氣と笑顔を頂きたい。

アスリートに限らず、前向きに生きる姿はどの人もすべて美しい。一步一步ステップアップするための努力はきつと報われる時があるのだと改めて思う。だからこそ、こどもも高校生の君たちがこの言葉を送りたい。「100年を越えて、新たなステージへまっすぐに!!」

(辛)

## ひょうごスーパーハイスクールHSHによる学習プログラム研究開発

# グローバル社会をデザインする 科学系人材の育成

## ～SSSUプログラムの研究開発～

## ◇目的

科学的研究への強い意欲と能力を備えることに加え、体験と実践を伴った探究的な深い学びを通して、グローバルな視点から様々な課題をとらえ、その解決に向けて科学技術に対する横断的・融合的な幅広い見地を養成する。

①SSSUの魅力を牽引する科学系人材プログラムの構築

②課題研究を通じた資質能力養成プログラムの構築

③関係機関と連携し、体験及び実践を伴ったSTEM教育プログラムの構築

④国内外の大学・研究機関等と連携した研究・研修プログラムの構築

## ◇研究開発プログラム

A 海外校とのオンライン交流 交流先

オーストラリア姉妹校モリーリ高校、大園国際高級中等学校(台湾)、

佛山市第二中学(中国)、サンジョセフ校(仏)

B 高大連携・高企連携講座(連携先)

京都大学大学院エネルギー科学研究所、東北大学サイクロトロン・ラジオアイ

ソトープセンター測定器研究所、甲南大学フロンティアサイエンス学部、

京都教育大学、神戸大学医学部保健学研究科、

大阪大学全学教育推進機構、

神戸大学発達科学部人間発達環境学研究科、ハリマ化成

〈内容〉人工太陽とエネルギー問題、宇宙線の観測、再生医療への期待、企業における研究と商品開発

## C 特別実験講座

夏季・冬季実験講座、小中学生理数講座

## D 地域連携及び大学連携を伴った課題研究

「理数探究Ⅰ」において「課題研究メソッド」を展開し、基礎実験の手法や、データ収集・活用方法の修得、考察の過程を学び、プレゼンテーションに係る資料作成と発表方法を学ぶ。2

年次における「理数探究Ⅱ」(学校設定科目)において、「生物」「化学」「物理」「数学」「情報」の5分野で、

課題研究に取り組んだ。

〈発表会〉555高校との連携・5国5連携プログラム・「高校生リサーチプラン」発表

会・HYOGO×WKCフォーラム・高校生555探究発表会2021

E 校外学習

○人と自然の博物館「収蔵庫・ジーン

ファミリー見学」「化石と環境」

○砂金採集研修河川敷での金採集実習

○大型放射光施設Spring-8・X線自由電子レーザー施設SACLA見学



明高小学生教室実験講座 (サイエンス部)

# 母校は2023年に 創立100周年を迎えます

## 100周年記念事業・行事一覧

- 1 記念式典**  
明石市民会館にて挙行の予定
- 2 記念行事**  
内容は現在検討中
- 3 記念祝賀会**  
式典当日の夕刻に開催予定
- 4 記念美術展**  
兵庫県内と東京の2カ所で開催予定
- 5 100年史の編纂**  
80年史を基礎に現在作業進行中
- 6 資料館の充実・整備**  
縁(ゆかり)の品の保存、デジタル化
- 7 100周年記念碑の建立**  
後世に記念事業取組みを伝承
- 8 子午線測量記念碑の保存**  
後世に測量地を伝承
- 9 校内環境整備事業の支援**  
「ふるさと納税」を活用
- 10 明中祠への合祀**  
この10年の間に亡くなられた方を合祀
- 11 シンボルマークの作成**  
美術科生の創造力を発揮して



実行委員長

永井 邦 治 (高27回)

## 創立100周年に向けて

自彊会会員の皆様には、平素より母校の発展に向けてひとかたならぬご支援、ご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。また、依然としてコロナ禍のとお仕事やご家庭におかれましてもご苦労されていることにお見舞い申し上げます。

自強会会員の皆様には、平素より母校の発展に向けてひとかたならぬご支援、ご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。また、依然としてコロナ禍のとお仕事やご家庭におかれましてもご苦労されていることにお見舞い申し上げます。

また、今年度からは各種記念事業の円滑な実施に向けて、同封の趣意書により募金を開始することとしております。コロナ禍でもあり厳しい経済状況の中ではございますが、多くの皆様に募金を通じて記念事業に参加していただきたいと思います。

すでに昨年の自強会だよりでご案内しております、「ふるさとようご寄付金」を活用した校内環境整備事業へのご寄付につきまして、多くの同窓の皆様のご協力をいただいております。この場を借りましてお礼を申し上げますとともに引き続きご協力をお願いいたします。

◆「記念野球試合」計画◆  
本号の17頁にも掲載いたしました、1933年、夏の全国大会準決勝戦で、中京商業との延長25回戦は高校野球史上の金字塔として長く皆さんの記憶に刻まれています。奇しくも対戦しました中京商業(現中京大京高校)も母校と同じく2023年に学校創立100周年を迎えます。

開催もままならず、私どもが足を運んで直接ご協力をお願いする機会もない状況ですが、どうか各学年の理事様を中心にして自強会の皆様の強い絆で記念事業が充実した内容となるよう、格別のご支援とご助力を賜りますようお願い申し上げます。

そこで、「記念行事として現役野球部員の記念試合を行おうではないか」の声が上がっています。公式戦・遠征・練習試合など日程が過密な両校野球部、更に球場の調整等、実現にはかなり高いハードルをクリアしなければなりません。1933年の延長25回戦から90年の年でもあります。諸課題を解決し、実施が決まりましたら次号(会報31号)でお知らせいたします。

また、野球部のOBが編成するチームは、毎年「マスターズ甲子園」にチャレンジしています。「中京」のOBとの試合も実現できればとの声もあります。乞うご期待！

## 会社訪問

## 株式会社

## きしる



高次 8回  
卒業生 松  
本好雄氏の  
ご厚意で、  
ご自身が会  
長を務めら  
れる「機さ  
しる」の工  
場見学の機会を得て、4月のある日播磨  
新島にある播磨工場を訪れた。西校長を  
はじめとする母校教職員と、われわれ同  
窓会本部役員の一行8名は播磨新島へ渡  
り、色とりどりのチューリップが飾り付  
けられた事務所玄関から、会長はじめ工  
場を案内してくださる担当の方々が待つ  
応接室へ迎え入れられた。

他に類を見ない大型切削機械を多数備  
有する「きしる」の主要業務は、神戸製鋼  
所などから鍛造品素材の機械加工を委  
託され、その仕上げまでの切削加工を担  
当されています。

概要の説明を受けた後、全員ヘルメッ  
トと保護メガネ、首からは「VTP」の  
カードを吊り下げて、いざ見学コースへ。  
①きしる播磨工場で大形船舶用推進軸・  
操舵軸・航空機用ジェットエンジン部  
品等の加工工程  
②きしる高砂工場（神戸製鋼所内）で世  
界最大2サイクルエンジンの組み立て  
式ランクスローの加工工程

## (株)きしるの歩み

1915	船舶用内燃機の製造を目的として「きしる発動機製作所」創業（明石市）
1926	「きしる発動機株式会社」設立 途中「株式会社錦港製作所」に組織変更
1950	「きしる発動機株式会社」を再発足
1955	主要業務を切削加工工業に転換してゆく
1960	「明石化成工業株式会社」設立（明石市）
1968	きしる土山工場完成（加古川市）
1969	きしる和田工場完成（加古川市）
1970	明石化成工業福美工場完成（加古川市）
1971	松本好雄 代表取締役社長に就任
1973	きしる播磨工場完成
1975	きしる商事株式会社設立
1989	明石化成工業小野工場完成（小野市）
1992	「株式会社きしる」に社名変更
1995	株式会社神戸製鋼所高砂製作所内ド ール工場の運営開始（高砂市）
2004	株式会社神戸製鋼所高砂製作所内ド 「新高砂スロー工場」稼働開始（高砂市）
2004	本社を明石市天文町に移転（自社ビル）
2009	松本好雄 代表取締役社長に就任
2014	太陽光発電自社設備10MWが完成し稼働開始 （北海道浦河市、宮城県岩沼市、 兵庫県明石市、小野市、稲美町）
2015	きしる播磨精機工場が完成し稼働開始

③神戸製鋼鍛造工場で1万トンプレスに  
よるランクスローの鍛造工程  
④岡クランク軸組立工場で船舶用大型機  
関のクランク軸組立工程  
⑤きしる圧延ロール製造工場で圧延銅板  
製造用圧延ロールの加工工程  
播磨工場内にはかつて戦艦大和の砲身  
を加工した世界最大の旋盤が保存されて  
いる。同型の旋盤は今も現役に稼働して  
おり70年以上前の機械が現在も通用する  
精度を持つていたとは驚きである。運転  
中の大型加工機や、恒温室内で最新式の  
3次元計測機の稼働状況、熱せられて真っ  
赤に鍛造した約1mの鉄の塊を1万トンレ  
スで鍛造する工程などを見せたいたき、

その迫力に圧倒された。  
工場内の印象

一般的な機械工場の床面では当たり前の  
油気やキリコが見当たらず、通路の白  
線がクッキリ描かれ汚れていないのに驚  
いた。また我々見学者が近づくと多くの  
作業着の方が軽くお釈された。彼らの  
作業着が油で汚れていないことからも、  
気持よく余裕を持ち、かつ自信をもって  
作業されていることが伝わってきた。ま  
た各機械機の水ポイントボードには生産計  
画ととも作業のポイントや安全上の注  
意事項が掲示されており、各自が責任を  
もって作業されていると感じた。

**機械加工以外の事業**  
現在世界的な最重要問題のひとつであ  
る脱炭素やESGに関し、きしる殿は  
前向きに取り組まれている。太陽光発電  
部門では自社工場敷地や建屋の屋根、明  
石クリンセンター数地区に、さらには北  
海道や仙台で自然環境保護に配慮した太

太陽光発電  
による発  
電事業を  
展開し、  
再生エネ  
リを利用  
した脱炭  
素推進に  
貢献され  
ている。  
再生エネ  
地産地消  
推進活動  
に取り組  
んでいる。



筆者としては、従来化石燃料  
購入費用として海外に流出していた地域  
内の電力支出を、再生可能エネルギーで  
作った電気を地域内で循環させて地域経  
済活性化に貢献されるきしる殿の活躍に  
期待したい。

最後に

物流手段としての船舶・海運、またそ  
の推進原動機（エンジン）としての将来  
性について松本会長にお聞きした。

「四方を海に囲まれたわが国では輸出  
入で海運が不可欠である。また国内物流  
でも長距離・大量輸送の物流コストや環  
境への負荷の面で海運が有利であること  
は明らかであり、脱炭素が進んでも船が  
なくなることはないと考えられる。ただ船の  
原動機（エンジン）に使われる燃料が重  
油からアンモニアや水素に置き換わるか  
もしれない。しかし、どれに置き換わっ  
たとしても大型船舶の推進には原動機  
（エンジン）とプロペラが必要であり、  
その動力伝達装置として船用軸は必要で  
あると考えます。」（文責・佐々木）

# 自彊不息

このコーナーは、各界で活躍されている方、自分の夢を追い続ける個性的な方を紹介するものです。

今回の自彊不息には1990年代、国家プロジェクトでもあった本州四国連絡橋建設において本四公団の建設局長として活躍された高校8回生、森本隆也氏に登場願った。

森本氏は1988年若工、1998年に完成した明石海峡大橋、その前の1985年に完成した大鳴門橋や瀬戸大橋の建設に携われた貴重な経験を聴かせていただきました。

## 明石海峡大橋の建設秘話

### 森本隆也氏（高8回）

【森本さんは大学卒業後、1960年（S35）に建設省（現国土交通省）へ入省されたとのことですが、それまでの経歴を聴かせてください。】

今も住んでいるこの家、太寺で生まれました。神戸大学付属明石小・中学校を卒業後、明石高校へ入学しました。明高では理系コースを選択し、1年は藤原先

生、2年は島田先生、3年渋谷先生が担任だったことや数々のエピソードを覚えてます。大学では工学部土木工学科で学び、卒業後建設省に入省しました。



### 【入省後のお仕事は？】

当初は地方工事事務所で道路・河川・橋梁・トンネルなどの設計、監督業務に携わりました。当時は播磨汽船のせきり丸や宇高連絡船・紫雲丸などの旅客船沈没事故で多くの人命が失われる大惨事が発生して多く、淡路・四国との安全な交通手段が強く求められていました。地元明石海峡にも架橋が計画されていたので、私も是非参画したいと思っていました。中学や高校では淡路から通ったり、運動場西にあった寄宿舎に住んでいた淡路からの生徒もいて、海上交通の安全は他人ごとと思えませんでした。

### 【本四架橋計画が本格的に始動したのは？】

1963年（S38）本四架橋の研究・調査が開始され、「夢の架け橋」の実現

へ向けての検討が始まった。私は1968年（S43）に建設省本州四国連絡道路調査事務所勤務となり、本格的に本四架橋計画に参画することになりました。四国架橋計画は淡路島のみならず瀬戸内海に3本の橋を架けるという世界にも例を見ない壮大で、技術的にも難しいものでしたが、技術者として奮い立つモノがありました。当時の橋梁建設先進国の技術資料の調査、海峡部の地形・地質・気象から深海での基礎工事施工法・材料、大型機械・船舶などの機材輸送手段など、考えられる限りの研究調査を行いました。

このような大規模で前例のない大工事になると建設会社・製鉄会社等との共同研究・技術開発が不可欠で、組織を超えて関係者が一丸となって進めました。

【これだけの長大橋の計画・建設に際してどのようなことに留意されましたか？】

まず、周辺環境を壊さないこと。これを最優先で計画しました。例えば鳴門海峡では大潮を含む潮流への影響、さらには魚類を含む自然への影響を最小限にするのを最優先に検討を重ねました。具体的には橋脚は一般的な1本の太いものではなく、小径の柱を10本ほど環状に配置した多柱基礎を採用しました。これにより鳴門の大潮とそこに育つ魚類が守られると同時に、建設中の運搬機材搬入

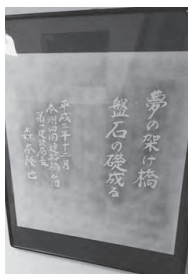
車両の小量化が可能になり、周辺への工事の負担を最小限にできました。

また、明石海峡大橋は当初計画では垂水―岩屋間で全長5.4km、3吊橋でしたが、先に施工した瀬戸大橋等の経験を活かして最終的には舞子―松崎間で全長約4km、橋脚間約2kmの世界最大吊橋となりました。これは技術開発や環境への配慮の結果であり、建設コスト低減にも大きく寄与しました。

【明石海峡大橋は1998年に完成しましたが、建設中の1995年に阪神淡路大震災が発生しました。工事にはどのような影響がありましたか？】

当時は既に退職していましたが、地震発生は本当に驚きました。被災された方には申し訳ありませんが、工事のタイミング的には幸運な面もありました。地震当時橋脚・主塔は完成しておりケーブル張り渡し直後でしたが、桁は架設前で構造物としてはもっとも強度が高い状態であったこと、さらに事故発生が早朝で夜間工事をやっていたことでの人的被害が無かったからです。完成前に自然の耐震試験ができたとも思いました。一方、地震のために橋脚間距離（スパン）が1990mから1991mに1m伸び、海面からの桁高565mが確保できたことで大型船舶の航行への懸念がなくなるとい





完成記念碑 (森本氏書)

う副産物もありました。  
 【明石海峡大橋が完成し、20年余が経ちましたが、今工事を振り返ってのお気持ちはいかが？】  
 約10年の工事期間中、工事に関係する海難事故は皆無であったこと、また毎日数百人が工事に携わりましたが、このような大規模工事で1件の死亡事故も発生しなかったことは奇跡に近く、本当に嬉しいことでした。完成後も幸い橋に関係する大きな海難事故もなく、架橋の目的であった明石海峡・瀬戸内海での安全な往来、速くて安い交通が確立されたことは本当に良かったと感じています。あとはこの橋を水く安全に使い続けるための維持管理が重要だと思っています。八十才を過ぎましたが、橋のライトアップを眺めながら散歩を楽しんでいます。(文責…佐々木)

## 創立100周年記念事業、「フォトアルバム」募集

「残しておきたい、共感したい、あなたの心に残る思い出」

### 応募規定

- 百年誌に掲載可能な静止画のプリントのコピー、または写真の電子データ(サイズ不問)を送ってください。
- 明石中学・明石高校の卒業生及び旧・現職員の応募とさせていただきます。
- 送り先:  
〒673-0842 明石市荷山町1744  
県立明石高校100周年記念誌「フォトアルバム」係
- メールアドレス:  
meikoujikyoukai@gmail.com
- 期限:  
2022年6月初日から10月末日まで

明中・明高に関する懐かしい写真を募集します。在学中や卒業後に、母校内や対外試合中、登下校途上などで写された懐かしい場面の写真を保有されておられれば是非ご提供ください。100年誌に掲載させていただきます。

卒業アルバムには載らないような、学友とのプライベートな写真、何気ないスナップ写真、風景写真を期待します。明石駅前、明石公園、明高池、明石海岸、魚の棚、明石銀座、出身小中学校、市バスなど何でもOK。写真に説明ショートコメントを添えていただければありがたいです。

応募いただいた写真から編集委員が独断と偏見で選ばせていただく100年誌に掲載させていただきます。応募いただいた写真は原則的に返却できませんので、コピーを提出してください。

皆様の応募をお待ちしています。

### 創立100周年募金専用払込書

「明石高校創立100周年記念事業募金」のお願い

- ◎この払込明細は、郵便物・ゆうちょ銀行専用です。
- ◎ご希望は、左記のいずれかをお願いします。
- ◎コンビニエンスストアでのご利用できます。

明石高校創立100周年記念事業募金 〒673-0842 明石市荷山町1744 明石高校総務課	明石市教育委員会 〒673-0842 明石市荷山町1744 明石市教育委員会
--	--



「100周年記念事業資金のお願い」  
 同封いたしました趣意書をご覧ください。また、同封の「100周年募金用振込書」で募金へのご協力をお願いします。記念事業は、その規模を小さくし、経費を抑えることは可能です。しかしながら、創立100周年は母校の大きな節目、転換点であると捉え、「やるべきことをしっかりとやりたい」と企画しています。募金にご協力をお願いします。

# 「米寿を祝う会」の リニューアル

明中1回生から続けてきました「米寿を祝う会」が、コロナ禍とあって宴会形式で行うことが難しくなっております。4月の理事会で検討いただき、今後は新しい方法で継続することとなりました。従来通り、米寿対象の皆様にお手紙を出し、ご健在が確認できた方にはお祝いの品をお贈りいたします。

また、「同封の「返信はがき」に、「近況」や「高校時代の思い出」など、2005

300文字程度お書きいただき、文集として皆様にご念品とともにお送りいたします。

従来の「明石での宴会形式」は、久しぶりの再会を楽しんでいただける一方、「行きたくないけど遠方にいるので行けない」、「健康上の理由で参加できない」など残念な思いをされた方も多々ありました。「文集」にすることで、一人でも多くの声を同級生の方に届けることもできます。

今回は高校5回生、6回生(2学年一緒の場合)の皆様にも夏頃にはお便りを出す予定でございます。楽しみにお待ちしております。



米寿記念文集



イラスト・安藤 勉 (中18回)

## 高校十八回

佐々木 卓郎

桜が咲き始めた3月24日、18回生の公式ライングループメンバー約15名が明石公園の芝生に集まりました。コロナにも気をつけながら歓談、その後明石駅前の居酒屋さんへ。

参加者から「元氣な内に、そろそろ学年同窓会を!」との声も上がり、75歳の高齢者講習会?として具体的に準備を始めようかと言うことになりました。

## 高校二十一回

丸尾 安郎

21回生の皆さん! 古希の同窓会が遅れること2年、幹事一同、決してさぼっていませんのであります。なにしろ、嫌にならずに。コロナ。コロナ。てします。この間、準備の幹事を5回行いました。「もうやれそうやなあ!」と打ち合わせ、準備を出すと感染拡大、蔓延防止、緊急事態宣言となり、「あかんなあ!」この繰り返しをしています。



ホテルを使った従来型の同窓会は、まだ暫くは厳しいと思われるので、母校の講堂を借用して行う開催(母校訪問と安否確認)を模索しています。

初秋頃、ご案内を出したいと幹事一同思っていますが、さどうなるやら。ゆっくり、楽しみに待って下さい。

## 高校二十四回

細田 和宏

麗春の候、明高24回生の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

私達幹事一同は、「ありがたう、湧きつづき思い、55年生」をテーマに掲げ、「明高24回生古希祝同窓会」を今年4月23日(土)にホテルキャッスルプラザにて開催する準備をしていました。

しかし、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、今年4月も開催を見送り、来年会場と、「明高24回生古希祝同窓会」の開催を決定した次第です。

新型コロナウイルス感染が終息して、来春皆様との再会が実現できることを心より切望しています。

## 高校二十八回

森本 克茂

28回生学年同窓会(案内)日時 2022年11月5日(土)15時開会場所 明石グリーンヒルホテル

ほのぼのと明けゆく空や、180名近く参加の選同窓会から5年経ちました。皆様また昔に戻ってワイワイやりませんか? ポケ対策のために一日クワクワしませんか? また、母校のために頑張っている和田君の応援をしませんか? 感染対策のガイドラインに従って開催しますが、状況によって延期の可能性もあります。よろしくお願ひします。

## 高校二十九回生

小椋 利雄

コロナやら戦争やらで世の中混沌としておりますが、皆様お変わりありませんか? さて、来年こそ同窓会を開きたく思いますが、如何でしょうか? ご意見、要望をご連絡頂ければ嬉しく思います。今後、健康に留意し活躍されんことを祈念いたします。



### 高校三十一回

吉田 信次

皆さん、お元気ですか。未だ延期されたままの同窓会、いつ、どの様な形で開催できるのか、まだ想像できません。幹事一同、安心して集ることができていることを願っています。

一方、嬉しいお知らせもありかねてから懸案だった朽ちかけの卒業記念植樹の木製標柱。朝倉彰君の篤志



により、素晴らしい石造りの碑に生まれかわっています。ぜひ、母校を訪ねてじっくり見てください。

### 高校三十二回

宮 脇 貢

タイトル「32回生の皆様！本年度こそ選暦(選暦+1)で集まりましょう!!」  
本文「昨年度は「選暦・60歳(廿年生まれと寅年の早ゆきの学年)で選暦同窓会の年でした。しかしコロナ感染症の影響で残念ながら不開催となっています!なんとか「+1年」で集まることができないか、計画したいと思います。まずは昨年、選暦を記念して呼びかけた連絡アドレスを継続していますので、是非ともお名前と当方からのメール連絡可能なアドレスをおしらせください。」  
Akashi32niyama@gmail.com

### 「東京自彊会」からのお知らせ

長尾 昌男 (高18回)

当会では二年毎の総会・懇親会を開催することに決めています。昨年はコロナ禍のため開催を見送りました。今般、佐々木知子新会長を交え新年度の役員会を四月十三日に開催しました。(写真)  
母校の創立百周年の前年(白寿)に、「総会・懇親会」を開催することの賛同が得られました。(開催日時等は別掲)  
関東エリア(東京・神奈川・千葉・埼

玉城・  
栃木・群  
馬・山梨  
・静岡)

に在住の  
九都県  
の皆様は、  
九月に入  
りました  
らご案内  
をお送り  
致します。

自彊会  
の年会費  
(三千元)  
を納入頂  
いた九都  
県の皆様  
(昨年度は  
217名)の  
年会費の一  
部(1/4)が  
、当会への  
支援金と  
成ることも  
お覚え頂  
き、コロナ  
禍でも健  
康に問題  
のない方  
は、奮っ  
てご参加  
ください。  
役員一同  
、お待ち  
しております。



東京自彊会 役員会 2022年4月13日  
於: 神戸大学東京六甲クラブ

### 2022年度東京自彊会

#### 「総会・懇親会」予告

#### ①日時

2022年11月12日(土) 正午から

#### ②場所

ホテルグランドアーク半蔵門

3階(華の間)

東京都千代田区単町一―1―

TEL 03・32288・0111

https://www.grandarc.com

#### ③会費 5千円

#### ④イベント 企画中

### 同窓会入会あいさつ

服部 直弥 (高74回)

私たち74回生309名は、この春、明石高校を卒業し、それぞれが新しい道を歩み出しました。

在学中は、先生方はじめ沢山の人に支えられ、高校生活を送って来られたと思います。もちろん、自彊会の皆様からも学業や部活動など、大変お世話になったと感謝しております。

これからは、学生・社会人としての自覚を持ち、母校明石高校の伝統に恥じない大人になるように努力していきたいと思いをします。

まだまだ未熟な部分もありますが、この先もご指導いただきますよう、どうぞよろしくお願い致します。



74回卒業式

## 美術科支部

鷲森智美(高38回)

2021年7月10日に、第15回同窓会美術科支部総会を、参加人数にも考慮し、少数になりましたが母校資料館をお借りして開催いたしました。

新しい生活習慣にも不安が募る毎日ですが、遠方より参加して下さった会員の方々との再会も叶い、皆さんの笑顔に囲まれて、大変嬉しく感じました。

審議内容として、活動報告・学校創立100周年記念事業の一環として開催予定の記念美術展2023(仮題)についてや、美術科画報の発行(予定)、2022年度の活動計画案など、貴重なご意見と楽しい会話で盛り上がりながらも進行でき、参加者からの温かい賛同をうけ承認を終わりました。ありがとうございます。

毎年恒例の懇親会は開催できませんでしたが、会員相互の意見交換でも、回生を超えての交流や個展・グループ展などの情報交換も深まったり、美術展への出品参加のお願いや説明会の準備などにもご協力をお願いし、実現に向けて取り組んでいきたいと思っております。会員の皆さまにも深いご理解とお力添えを重ねてお願い申し上げます。

前年の自強だより29号でお知らせすることができたのですが、東京を拠点として活躍されている美術科1回生(高38回) 歌舞伎役者の中村芝のぶさん(成駒屋) が出演される歌舞伎公演「市

川海老蔵企画公演「いぶき」が6月に、京都南座で開催されるという素敵な情報がありましたので、関西圏に在住する美術科支部の後輩だけでなく、同窓会の先輩方や繋がりのあるお友達にもお声かけさせていただき、何と千秋楽では、良いお席での団体鑑賞も実現でき、初めて歌舞伎を鑑賞した若い世代の後輩からは、敷居が高くてなかなか観に行く機会もなかったけれど、このような機会を戴けて貴重な体験にもなったり、伝統芸術である歌舞伎の奥深さにも感銘を受けたと好評でした。



京都南座歌舞伎公演にて  
～千秋楽観劇～

急なお誘いにも関わらず観劇下さった先輩方をはじめ、皆さまには素晴らしいご協力いただき、大変感謝申し上げます。また若い世代での活躍にもお力添え下さいます様よろしくお願いいたします。

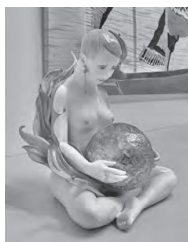
【お知らせ】  
同窓会美術科支部が運営する公式WEBサイトのホームページやSNSにて2023年度に開催します創立記念同窓会美術展2023(仮題)についての案内や説明会など決定次第お知らせいたします。各回生の幹事を通じて情報の配信をお願いします。

## 第8回日展

【特選作品】  
明石高校美術科長 菊川 敏 先生→  
【入選作品】  
←美5回生(高42回)大久保真理子さん  
↓美3回生(高40回)小野月世さん



美術科2回生(高39回)  
高田竹節展  
～エンガート・ギャラリー  
(三重県)～



## 2022年度同窓会美術科支部総会のご案内

下記のとおり、第16回総会を開催いたしますのでご出席頂きますようお願い申し上げます。

※新型コロナウイルスの影響で例年通りの開催が変更になる場合はホームページなどからお知らせしますのでご確認ください。

記

期日 2022年7月9日(土)

時間 15時半より

(受付は15時から)

場所 明石高校資料館

同窓会美術科支部  
ブログ同窓会美術科支部  
Facebookページ

全国各地で制作活動を続ける美35回生(高72回)26名が地元兵庫に集結 念願の「二十歳展」を開催

二十歳  
instagram

美術科33回生(高70回)清水美里さん展示作品  
「施業時間」アートのプログラム鶴林寺にて

## お世話になりました

## 憧れの明石高校を離れて

教頭 藤井 俊



自彊会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。本校の教育活動に多大なご支援・ご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

昨年度から教頭としてお世話になりました。この2年間は新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る様々な対策により、入学式や卒業式等の式典及び明高祭、体育大会等の学校行事は言うまでもなく、授業スタイルや登校方法に至るまでのほぼすべての活動が、当たり前に行っていた方法と同じ形態では行えなくなりました。この一見困難な状況の中で、多くの活動が想像以上に効果的に行うことができたことに非常に強い感謝を受けました。

自強不息の建学の精神を礎にして、人格の完成を目指して行ってきたすべての教育活動で、負の状況から正の状況を生み出し、なおかつ新しい成果を上げようとする明石高校全体の活躍には日々心が躍る思いでした。明高祭での美しく素晴らしいパフォーマンス、地を揺るがすような体育大会の躍動、近畿大会や全国大会に羽ばたく部活動、そして自己実現に向けて決して最後まで心を折らない勉学に対する情熱。どれもこれも素晴らしい光景を目の当たりにすることができました。教頭として心の底から幸せな瞬間を連続

して味あわせていただきました。本当深く感謝しております。100周年に向けて更なる飛躍を実現する明石高校を応援します。

## 資料館と図書館

青山 与志枝



再任用の5年を加える14年間お世話になりました。志願制度2年目の54回生の学年主任を務めさせていただきましたが、元気な生徒たちは、勉強も部活動も頑張り、国公立に過年度生も含めて77人の合格を出すことができました。

その後は図書部長を5年間勤め、図書館管理ソフトの図書丸の運用を始めました。古い本を処分し、本を登録し、配架を工夫したりして、利用者を増やす努力したのがよい思い出です。

また、資料館にも手を付け、アルバムを年代順に整理したりしましたが、いっばんだんな仕事は、貴重な書籍の整理でした。貴重な書籍とは、松平直顯氏(明石城主の子孫の方です)・上谷榮吉氏・米澤貞二氏他から寄贈された書籍や、山内佐太郎先生の著作や、先生が所蔵されていた書籍のことです。

特に松平氏から寄贈された書籍のほとんどは、江戸時代に木版で出版された和綴じの書籍で、保存状態は良好でした。和紙は、丈夫で軽く白く保存性が高く、和紙のすばらしさに感動しました。内容

を紹介すると、四書五経や資治通鑑などの中国の古典や、純日本紀・神皇正統記・日本外史・古今和歌集など日本の古典もありました。江戸時代の武士の教養だったのでしょうか。

三千冊を超えるこのような貴重な書籍について、明石高校ではほとんど利用されてこなかったということもあり、兵庫県立図書館に寄贈することになりました。リストを作り、平成27年度中に資料館の書籍のほとんどを、県立図書館に移しました。本校図書館に現在保管している貴重な書籍としては、朝鮮通信使関係の本で書かれた当時の史料や、江戸時代寛文年間の、神戸から明石にかけての絵文などがあります。図書館には、明石にゆかりの橋本関雪の父の、橋本海関の書も架けてあります。長くなりましたが、このことを知っていただきたくて、記させていただきました。

図書の仕事を通じて、明石高校の歴史の一端にふれることができ、よい経験を作せていただいたと思っています。私は、その後には生徒に入って、生徒に近いところで、生徒に関わることができました。

先生方と生徒のみさんに恵まれ、明高で教師生活を終えられることに感謝しています。ありがとうございました。明石高校と同窓会のみますますの発展をお祈りしております。



## ごあいさつ

山田 達雄

本校に着任して、13年になりました。その間60歳の定年退

職、そしてこの度は再任用終了65歳の完全退職を迎えることができました。このような人生の節目を明石高校で迎えたことは幸せなことです。

本校では普通科64回生をかき取り、67回・70回生の学年間、最後の四年間は総務部に所属しております。どの部署・クラブ活動でも思い出たたくさんあります。その中でどれが一番ということは有りません。ただ言えることは、「大事な思い出」として残っている出来事の中には、その時々に出会った生徒・保護者の皆さん、同僚の先生方との関わりが必ずあったということです。本当に当たり前のことですが、私一人では何一つ「思い出」は創ることはできません。

改めて、目の前の「人」と明石高校という「場所」に助けられた今日が有ることを実感いたしました。感謝をしております。

最後に、明石高校の益々のご発展を祈念し、お別れの辞といたします。ありがとうございました。

## 思い出

前田 浩人



明石高校には9年間お世話になりました。たくさん思い出が出来ましたが、とりわけ印象深いことの一つは、69回生の学年主任を務めさせていただいた3年間です。1年生春の遠足は、土砂降りの雨のなか笠形山に登りました。叱られるかもしませんが、不思議と危ないという感覚はありませんでした。入念な下見や安全なコースへの変更もありましたが、一番大きかったのは教師も生徒も一体感

があったことでした。下山後、皆で作ったカレーの美味しかったことと生徒たちの顔がくっつた大人になったことが印象的でした。2年生での一番の思い出は、二セコでの修学旅行です。美しい羊蹄山をバックに、パウダースノーのなかスキーやスノーボードを楽しみました。「教師は生徒の範となれ」を率先して示すために、教師自らスタンツの特訓をして、「嵐」【Pitruha】になりきってダンスを披露しました。全力で取り組むことの清々しさや、教師・生徒ともに感じ取った旅行でした。3年生になると、自らの目標達成に向けて努力する生徒たちがくっついてきました。夏休み期間中は、自習する生徒たちのために、教師団交代で視聴覚教室のエアコン当番をしましたが、多くの生徒が補習の無い期間も登校し、コツコツ頑張って勉強していました。自分自身の未来は自らの努力で開拓できることを多くの生徒が知り、感じ取ってくれたように思えました。ここで培った努力をもとに、卒業生らがこれからはますます活躍してくれば、学年主任としてこれ程嬉しいことはありません。

明石高校におけるも一つの思い出は、百人一首かるた部の福間を7年間務めさせていただいたことでした。かるた部は明石高校で最も歴史の浅い部活動ですが、生徒たちの努力により、競技かるた初心者の私でも、全国大会に連れて行ってもらったことが出来ました。競技かるたの世界は、一瞬の判断が勝負を左右します。研ぎ澄ました集中力で札を取り合うこの競技は、奥が深く素晴らしい勝負の世界を現出させてくれます。将来的に明石高校の文化部を代表する部活動に育ってほしいです。

まもなく百年を迎える明石高校にとっ

て私が関わった9年間はあまりにも短いですが、それでもこの伝統ある高校の歴史の一部にわたることが幸せと思いいここで得た多くの思い出とともに今後とも頑張る所存です。ありがとうございました。

3月31日 雨

山本 直樹



本日のメモ

争いが終わらない理由の何と小さいことか  
いつまで縋り付くんだら  
明日の100年を目を

今日のペヤング、わさび醤油  
ビュウラウンジ、サイコー!  
じゃ またあとで

ごあいさつ

井林 憲一



明石高校では11年間の長きに渡りお世話になりました。

65回生の2年生から、68、71、74回生まで緑学年で担任をさせて頂き、素直で人懐っこい生徒たちに囲まれ、素晴らしい先生方に恵まれて日々過ごせましたことにただただ感謝の念でいっぱいです。また、明石高校の校舎から見える明石の街並み、播磨灘や海峽大橋などの景色は、昼、夜とその姿を変えて現れるたび

に、その都度新しい発見と感動を与えてくれました。このように恵まれた素晴らしい環境の中で勤務できました喜びも、今更ながら噛み締めております。方々からの熱いご支援を賜り、伝統と実績を誇る学校に携わる責任感と達成感を学ばせて頂き、誠にありがとうございました。

昨日日々めぐるしく変化していく大変な状況ではありますが、明石高校の今後とも変わらぬ益々のご発展と自彊会の皆様のご多幸を心より祈念し、ご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

ごあいさつ

森鼻 史未江



明石高校で13年間お世話になり、その間に自彊会をはじめ沢山の方々とのご縁をいただけましたこと、私にとって生涯の宝です。思い出せば、明高に来て初めての美術科対面式で生徒達の真摯な眼差しと対峙した時、私の中の不安はここで誠心誠意頑張ろうという決意に変わりました。以来、教わることはばかりの年月でした。環境が人を育てるとはまさに明高のことで、四季折々の変化を見せる樹々に広々とした校舎、校歌など何もかもが私は好きでした。大きな揺りかごのような安心感の元、生徒達は伸びやかに青春の時を過ごし、力を蓄えやがて世界という海へと旅立ってゆく。ここに兵庫県唯一の美術科が設置されていることで嬉しく、そこで美術科の教師として指導できたい幸運に感謝しております。

明高を離れる今、名残は尽きませんが、思い出多く自彊が丘に、明石高校でも活気が満ち溢れることと信じ、いつまでも自彊会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

敬頭 内藤 仁視

この度、藤井教頭の後任として泉立明石清水高等学校から異動してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

来年度創立100周年を迎える伝統ある本校に赴任することとなり、校内のいたるところにこれまで長年にわたって積み重ねてこられた教育実践の重さを垣間見るにつけ、改めて身の引き締まる思いです。

「不易と流行」という言葉がありますが、学校現場では100年前から脈々と続いている営みの上に、近年の激しい変化への対応として新しい技術や社会の革新の波が次々と覆いかぶさってきているのを感じます。コロナ禍により一層先が見えない不安な情勢でもこう豊かで心身ともに健全な子どもたちが「未来への道を切り拓く力」を身につけていけるよう微力ながら全力でサポートしていきたい所存です。同窓会の皆様には、後輩である本校生徒たちのために陰日向に学校運営へのご支援を賜ることとなると思いますが、何卒よろしくお願いたします。

## 教頭 青木 智子

県立明石高等学校同窓会「自彊会」の皆様には、平素より本校教育活動にご理解・ご協力をいただいた誠にありがとうございます。

今年度、藤井教頭の後任として県立淡路3原高等学校より異動してまいりました。教頭として勤務するのは本校が初めてとなります。淡路市より明石海峡大橋を渡って通勤しており、心の隅々まで明るく晴れ渡るような眺望が毎朝の楽しみになっています。

本校は来年度に創立100周年を迎える伝統校でありつつ、特色ある学びを常に取り入れ、多彩な同窓生に支えていただいています。また、講堂などの学校の歴史を感じさせる建物とともに、毎年新たに芽吹き緑豊かな木々に囲まれた素晴らしい学校だと思っています。

「自彊不息」の建学の精神を受け継ぎ、更なる進化に向けて歩みだそうとする生徒たちとともに、新たな明石高校の1ページを描いていけるよう精一杯努めて参りたいと思いますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

美術科 宮城 教人

桜満開の中、県下唯一の美術科の教員として赴任し、期待でワクワクした気持ちと言いたいところですが、正直なところ自分などが明石高校美術科の教員など務まるのかと半分は不安なスタートを切っています。私は美術の教員として15年ほど仕事をしてきました。環境に恵まれ、

沢山の経験をさせてもらいました。経験を積むたびに美術の楽しさは高まってくることも多く、その筆頭が専門の日本画制作だと感じていました。心のどこかにやりきれないと思いつかかっていた日本画を今度は授業として受け持つこととなり、不安です。しかし、これも運命だと信じ、まずは自分が日本画についても一度勉強し直して生徒と一緒に学んでいこうと考えています。

赴任して1週間。不安な私のことなど関係なく美術科の生徒は明るく挨拶してくれます。素敵な出会いがこれから沢山待っていることでしょう。自己研鑽に励み、少しでも生徒の力になれたらと考えています。どうぞよろしくお願ひします。



新着任の先生方

## 人事

## ★ 転退任 ★

藤井 俊 先生	〔教頭〕	明石北高校
高橋 常夫 先生	〔数学〕	(退職)
山田 達雄 先生	〔国語〕	(退職)
青山与志枝 先生	〔地歴〕	(退職)
都留佳代子 先生	〔国語〕	(退職)
伊藤 哲朗 先生	〔国語〕	(退職)
野村 操 先生	〔養護〕	(退職)
前田 浩人 先生	〔地歴〕	(退職)
井林 憲一 先生	〔数学〕	(須磨東高校)
関 利恵子 先生	〔数学〕	(明石西高校)
藏岡慶一郎 先生	〔数学〕	(姫路東高校)
中村 健志 先生	〔理科〕	(姫路西高校)
堀江 玲那 先生	〔英語〕	(加古川北高校)
山本 直樹 先生	〔美術〕	(龍野高校)
森森史末江 先生	〔美術〕	(神戸甲北高校)
大森さとみ 先生	〔養護〕	(明石西高校)
吉田 祥吾 先生	〔地歴〕	(明石南高校)
山田 絵美 先生	〔事務〕	(明石西高校)
		(伊川谷北高校)

## 異動

## ★ 着任 ★

内藤 仁視 先生	〔教頭〕	明石清水高校より
青木 智子 先生	〔教頭〕	淡路3原高校より
高尾 珠里 先生	〔国語〕	(上郡高校より)
曾我 俊之 先生	〔地歴〕	(網干高校より)
杉本早季子 先生	〔国語〕	(須磨東高校より)
三谷美紀子 先生	〔国語〕	(須磨学園より)
岡田 美香 先生	〔養護〕	(阪神昆陽特別支援より)
山田 耕平 先生	〔地歴〕	(須磨東高校より)
古谷 篤梓 先生	〔数学〕	(姫路別所高校より)
佐藤 宏俊 先生	〔数学〕	(西脇工業高校より)
青山雄太郎 先生	〔数学〕	(新規採用)
岩武 優歩 先生	〔理科〕	(錦城高校より)
藤村ゆう子 先生	〔英語〕	(明石清水高校より)
山本 尚子 先生	〔美術〕	(いなみの特別支援より)
宮城 教人 先生	〔美術〕	(洲本高校より)
岡崎 恵美 先生	〔養護〕	(明石南高校より)
石原 友心 先生	〔理科〕	(新卒)
竹内まさ美 先生	〔事務〕	(神戸高校より)



# 進路結果

## 闘志抱きて

74回生学年主任  
米田 忠雄

桜の花もいよいよ咲き誇り、至る所で鳥さえずりや虫に響く頃となりました。自彙会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。明彦高校では3月1日に第74回卒業式が行われました。男子132名、女子177名の計309名が学び舎を巣立つと同時に新たに自彙会の一員に加わることとなりました。自彙会の皆様をはじめ、多くの方々に見守っていただきながらこの日々を過ごしてきましたことを心から感謝し改めてお礼申し上げます。

さて、74回生は改めて申し上げますまでもなく、2学年の始めから卒業に至るまで新型コロナウィルスに翻弄され続けた学年となりました。2年生になってますます目下待機期に入り6月にやがて2クラスの半数づつが登校する日が学校が始まるという流れまでに経験したことのない学校生活となりました。高祭などの行事が次々と中止となり美術科の研修旅行や普科の修学旅行も大幅に規模を縮小し行わざるまま進んでまいりました。3年生になり平常通りの授業が行えるようになりながら74回生に予定されていた進路に関する学年保護者会は7月に延期となりました。もちろん新型コロナウィルスに関わる苦難は本校だけでなく全国のみならず、これは全世界的な災禍ではあり、どのような受験生にとっても不安な日々

### 2020・21・22年4月進路実績表

大学名	20年	21年	22年
【国立大学】			
帯広畜産大		1	1
弘前大		2	
山形大		1	
筑波大	1(1)		1
東京農大		1(1)	3(3)
富山大		1	1
信州大		2	
滋賀大		1	
大阪教育大	2		1
神戸大	1	1	1
麻教大	1	2	2(1)
鳥島大	1	1(1)	1
國徳大		1	1
園山大	1(1)		2(1)
愛媛大	1	2(1)	2
香愛高		2	1
九州工大		1	
福徳大		1	1(1)
熊本大	1		
琉球大		1	
合計	12(3)	21(3)	17(5)

【私立大学】			
千代田大			1
工業大			1
青山学大			1(1)
東大	2	2	2
女子大	3	3	3
多摩大			5
東海大	1		1
東京農大			2
日本体育大			1
武蔵野大	6	4	7
京産大	18(6)	4	17(4)
京都精華大	4	4	17
京都芸大	3	3	2
同志社大	2	2	9(3)
同志社女子大			1
佛大			11
立命館大	3	4(2)	15(5)
龍谷大	1(1)	6(2)	6
追手門学大	4(4)	2	10
大経大	7(2)	10	6
大工大	1	1	4
大阪経済法大	12(4)	1	
大阪大	12(6)	27	16
大阪産大	17(6)	37(6)	15
大阪体育大	4	5	2
大阪電気通信大	4	14(1)	12
関西大	23(1)	13	16(1)
関西外大	3	4	2
近畿大	23(4)	12(2)	42(12)
摂南大	8(3)	8	24
大和大学	13(1)	8(2)	1
関西学院大	17(1)	14(1)	25(2)
関西南大	43(3)	57(4)	50
甲南大	6	22	18
神戸学大	97(5)	115(1)	134(3)
神戸芸術科大	8	3	9
神戸女子大	7	3	8
神戸女子大	44(2)	50	28
神戸薬大	1	2	1
神戸松蔭女子大	2	22	4
神戸親和女子大	12(1)	3	2
姫路獨協大	7	5	3
武庫川女子大	21	35	18
流通科学大	33	31	17
兵庫医療大	6	2	4
広島市立大	10(1)	6	4
山口県理大	7(2)	5(2)	3
下関市立大	109(18)	64(3)	92(1)
香川保健医療大			
高知県立大	1		
沖繩県立大		1(1)	1
合計	32(3)	26(7)	21(2)
国立大学合計	44(6)	47(10)	38(7)

【公立大学】			
秋田大	2	1(1)	2
長岡造形大	1		
金沢美術工芸大		2(2)	3
公立小松大		1	
福井県立大	1		
静岡文化芸術大		1(1)	
愛知県立大	1(1)	2(2)	2(1)
愛知学院大	1	1	
滋賀県立大			1
京都市立大	1	1	2(1)
大阪市立大	1		
神戸市看護大	1		
神戸市立大	11(2)	6	4
神戸市外大	3	1	1
公立鳥取環境大	2		
新見県立大	1	1	1
岡山県立大	1	1	
岡尾山市立大	2		2
福山市立大	1		
広島市立大	1		2
山口県理大	1		
下関市立大	2		
香川保健医療大		1	
高知県立大	1		
沖繩県立大		1(1)	1
合計	32(3)	26(7)	21(2)
国立大学合計	44(6)	47(10)	38(7)

短期大学合計	19	46(1)	12
専門学校合計	43(3)	68(5)	34
就職・公務員合計	9	3	2
合計	604(71)	641(31)	643(36)

【他の国立大学】			
国立清水海上技術短期大学			1
公立三重短期大学		2	

数字は合格総数、( )内は既卒生の合格数  
2022年3月29日現在

であったことは間違いありません。感傷を余儀なくされ、濃厚接触者に特定されてしまったとしてもしばらくは学校に来ることができません。ワクチンの接種にも時間を取られました。またこの3年間は入試制度等にも大きな変更もたらされた時期でもありました。事前に流された幾多の情報に多かれ少なかれ振り回された部分もありました。74回生は新型コロナウィルスに伴う前例のない新しい生活様式の中で不安

ももちろん大試結果については悲喜こもももでした。個別に取り上げるわけにはいきませんが、概して中心に放りさせていただきました。月並みで少しあれが目目標を、まずは早い時期からの進路目標を、つまり第一希望の自分の進路目標を、しっかりと定め、そこに向かってぶれ

ないで必要な学習を進めることが大切であると痛感しています。ただ、それと矛盾した言方になるかも知れませんが、実施2目となり結果も予想も難化した其土の事柄も多岐にわたる。自らに定めた最終的な受験校を決定する所でも柔軟性を持ちつつあることも同時に必要です。私立大学における合格者委員の厳守や新型コロナウィルスの影響から、大学側も推薦入試と一般入試とで難易度を分けながら入試に思えば、いくつか不合格の知らせを手にする、というふうにも自信を無くしてしまいが、先の受験に消極的になりがちです。推薦入試等で不調に終わった場合もあきらめず、一般入試を粘り強く努力を続けることも

大目だと感じました。国立大学に聞かれても前期入試だけでなく中期、後期まで強い気持ちで挑み続ける姿勢も大切でした。学年通信の最終号に、生徒たちへ贈る言葉として高橋や土の一句「春風を國志抱きて丘に立つ」という句を用いて送っていました。その先、まずまず混迷を極める社会情勢から、74回生も皆心んがそれぞれ置かれた場所での強い志を胸に秘めて頑張る一歩を踏んでほしい。もう一つ願って止みません。最後になりましたが、自彙会の皆様には感謝の気持ちで、自彙会が今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



## 部活紹介



たぐいまづきプール掃除中

顧問 上田 修平

## 水泳部

令和4年3月末現在、部員たちはプール掃除に動んでいます。年に一度の行事で、ちょっとしたお祭りみたいな雰囲気です。プールの底を磨いたり、バケツリレーで壁面に水をかけたたりしています。陸上での筋力やランニングを中心に過したオアシズンから、少しずつ本職の水泳に気持ちませています。

水泳は個人種目なので、毎年の入部人数にはばらつきがありますが、基本的には少人数で、和気あいあいと活動しています。私自身は5年ほど前から顧問になりましたが、特に指導はせずに眺めています。それでも部員たちはえらいもので、部長を中心に自分たちでスケジュールや練習メニューを決めて、互いに指導をしあい、毎年の県総体や新人大会、その他大会に積極的に参加しています。これからも自治の精神をもって、自分たちの力を伸ばしていき、くづれることと思えます。



## 百か人

生徒の成長と1枚の悔しさ

コロナ禍に揺れた

2年間を振り返って

顧問 前田 浩人

畳に座り、顔と顔を突き合わせて札を取り合う「競技かるた」にとって、2020年度から始まった新型コロナウイルス感染症の流行は、部としての活動のみならず部の存続そのものを脅かすほどの威力がありました。多くの運動部が最後の大会であった高校総体を中止し、多くの文化部が最後のコンクールを断念したと同じく、我がかるた部でも2020年度の3年生にとって、全国につながる最後の大会が全て中止になってしまったからです。73回生を中心としたチームには、強豪校を相手にしても十分に戦えるという手ごたえを感じていました。敗れて夢が潰れたのではない、戦わずして夢が潰れたわけではない、私たちは本当に悔しかったのではないかと思います。2020年度前半はコロナとの戦い方が分からなかったため、試合を中止にする以外方法がありませんでしたが、後半は感染症の流行が下火の状態であるならば、マスクと換気と札や畳の消毒を徹底することで試合ができるようになってきました。74回生を中心とした新チームは、運動部では新人戦にあたる秋の大会を勝ち抜き、3名の2年生が3月に東京で行われる全国高校生総会たるグラプリ大会への出場権を勝ち取りました。我が部はまだ同好会であった時代には、競技かるた経験者による全国大会への出場経験がありませんが、部と昇格してからは初めての全国大会出場に昇格し、また高校生入学後に競技かるたを始めた部員たちが中心であったことも含め、

大いに士気が上がりました。ところがそこに感染症の第3波がやってきました。試合を行うかどうか決定する2月頃がピークで、3月には下火になりかけていましたが、既に中止が決まされた後であったことも悔しさに拍車をかけました。久しぶりの全国大会は、PTAによりお祝いの懸垂幕を作っていた。といったことを記念として終了しました。

## 第4波の



流行が心配された2021年度の春の大会は、多くの関係者の努力によって、昨年とは違い無事に行われなくなりました。まずは全国高等学校総合文化祭に出場するメンバーを決める個人戦です。これには2名の3年生が勝ち残り全国大会出場を決めました。そして、夏に近江神宮で行われる選手権大会の兵庫県代表を決める団体戦です。我が校は絶対的なエースはいないものの、全体的に穴が少なく総合力とチームの和である結束力で予選を危なげなく勝ち上がり、いよいよ準決勝となりました。相手は全国大会の常連でもある神戸高校で、直前の個人戦でも優勝していました。5名ずつが戦う団体戦は、個人戦で全国出場を決めている両校2名ずつの選手が互いに勝ち、5番目の選手の結果次第というところになりました。そして一進一退の攻防の末、迎えたのが「運命戦」です。自陣の札が全て無くなったら勝

利となる競技かるたでは、互いに1枚ずつを残す状態を運命戦といいますが、運命戦では自分に近くを取りやすい自陣の札が読まれる方が圧倒的に有利です。どちらの札が読まれるかで勝敗そのものを左右する運命戦で、我が校は敗れました。5番目の選手は泣き崩れましたが、こればかりは誰が悪いのではなく神様の采配です。選手権出場という大魚は逃しましたが、私はむしろ、しっかりと気持ちを切り替えて、その後の3位決定戦に勝利した部員たちを大いに褒めたいと思います。1枚の悔しさとともに部員らの成長を感じた1日でした。この2年間は、勉強も含めた日々の学校生活を善無く送る「当たり前のこと」が、もはや「当たり前ではない」と思い知らされた2年間であり、また「普通に勉強ができること」や「普通に部活動が出来ること」の喜びを再確認できた2年間でもありました。個人戦による全国大会の経験は75回生以下の下級生の自覚を促し、その75回生が中心となって秋の県総文では堂々とした部門発表を成功させました。またしばらくこの不自由な生活は続きそうですが、生徒らの成長に手助けを頂いている自彊会を始めとする周りの方々のご支援に感謝しつつ、まだ見ぬ頂に向けてこれからも不断の努力を継続させていただきます。思いたいて思っています。



選手権大会の場となる近江神社

## 男子ハンドボール部

第64回近畿高等学校ハンドボール選手権大会に参加して

顧問 寺口 吉行

令和3年7月27・29日に近畿大会が兵庫県で開催されました。コロナ禍での開催ということで、入場時間や更衣時間など様々な制限があり、地元開催にもかかわらず無観客での開催となりました。

1回戦の相手は大阪府2位の強豪私学、桃山学院高校。過去の対戦では一度も勝つことがありませんでした。抽選の結果



る え ん 讚



を見た直後、正直なところ勝つことは難しいと思ってしまうました。試合が始まると明高の選手たちは近畿大会という大きな舞台に緊張していました。相手はチームの方針なのか1・2年生主体の新チームで臨んで来ましたが、1・2年生とはいえども強く、前半は4点ビハインドを背負う形となりました。しかし、後半に入ると次第に我がチームの硬さが取れ、ついに逆転に成功し、最後は4点差で勝利することができました。



2回戦は滋賀県1位の近江兄弟社高校。試合は白熱した状況の中、一進一退の攻防が繰り返られました。前後半だけで

は決着がつかず延長戦に突入しました。延長戦でも互いに譲らず、5人対5人で行う7mコンテストでの勝負になりました。しかし、それも同点で、最後は1対1のサドネス方式に、一人目、二人目と緊迫した場面が続き、勝負は三人目。我がチームのゴールキーパーが相手のシュートを顔面で止めるという体を張ったフラインプレーで明高に絶好のチャンスをもたらしました。我がチームの三人目の選手がフラインプレーの勢いそのままにシュートを決め、明高が勝利しました。

激戦に勝利した喜びも束の間、同日2試合目となるベスト4をかけた準々決勝が始まりました。相手は京都府3位の京都両洋高校。前の試合の疲労もあり、立ち上がりは最悪でした。すかさずタイムアウトをとり、「下級生と交代するか」とはうぶをかけたところ、その言葉に3年生が奮起し、勝利を収めることができました。

最終日、準決勝の相手は全国常連の京都府1位、洛北高校。準決勝まで必死に勝ち上がってきたが力の差を見せつけられ完敗。しかし、相手がどんなに強くても選手たち、特に3年生は最後まで諦めずに戦い抜きました。そんな3年生の姿が私にとってはすごく誇らしく、1・2年生の目にはとても頼もしく映ったと思います。



近畿大会ベスト4(3位)と優秀選手賞を3年生1名が受賞という素晴らしい結果を残すことが出来ました。

今大会を通して感じたことは二つあります。一つは県総体の短期間で3年生が随分成長をしてくれたこと。そして、どんな場面でも諦めないという粘り強さが勝利に結びついたということです。

大会終了後、選手たちに「ありがとう」「お疲れ様」と声をかけ、次のチームへバトンを渡してもらいました。

## 硬式野球部

前編

を  
栄  
光

昔



硬式野球部の活躍を、第30号、第31号で紹介します。今回は、1933年の延長25回戦と1960（昭35）年の兵庫大会決勝戦を取り上げました。

## 昭和8年夏の大会準決勝戦

昭和8年8月19日好天、午後1時10分、水上球審の右手が上がり、プレーボール。両軍チャンスらしい場面をつくれず、0対0が続いた9回裏、中京商業が無死満塁のチャンス。誰もが明中の敗北と思ひ、席を立ちかけたが、ピッチャーライナーでダブルプレー、ツアアウト後サードゴロで延長戦へ。こうして延長25回の死闘が始まった。

嘉藤栄吉氏が書かれた、小冊子『一球



全国中等学校優勝野球大会入場式

写真提供：横内博次さん(高31回)

の明暗」には当時の明中野球部を知る逸話が多く記されている。延長25回で明中敗戦となった最後のプレーは、嘉藤氏のバツホーム。ボールが高く、ホームでセーフ！試合終了。嘉藤氏の精神的苦悩や、山内校長はじめ、市民の皆さんの温かく迎えて下さった様子が心に伝わってくる。

何度も挑んだ全国制覇、何度も阻まれた全国優勝の壁。未だに成しえていない。現在の高校野球は「私学でなければ勝てない」のかもしれないが、甲子園出場、全国優勝、夢だけは持ち続けたい。

## 昭和35年兵庫大会決勝戦

第42回全国高校野球選手権大会でベスト8の好成績を残した明高野球部。当時の話を3番ファースト(投手兼任)で出場された藤村一三氏(高校13回生)に聞かせていただきました。

甲子園での戦いの思い出も多々あるが兵庫大会決勝戦の記憶が更に鮮明な様子。下馬評は「育英高校有利」と誰もが予想していた。試合は0対0で終盤に入った8回裏、一番ショート金山の打球はショートゴロ、育英の名手土井(後に読売ジャイアンツで活躍)が悪送球でノーアウト2塁のチャンス。二番サード南部の送りバントでワンアウト3塁にチャンス拡大。打席に入る前に赤松監督から「藤村どうする？」と言われ、「打たせて下さい」

と答えた。「任せる！」の一言。強振したボールは強いショートゴロ。期待に応えることができず、ツアアウト3塁。四番レフト水田の打球は緩いセカンドゴロ。これが内野安打となり1点先取。8回、9回の攻撃を0で抑えて優勝。甲子園出場の夢が実現した。西宮球場から明石までタクシー。途中からは警察車両の先導もあり、当時の明石デパート(現らぼす)前広場で優勝報告会を行い、周辺をパレードしたことは忘れられない思い出とか。また、全国大会前の甲子園練習終了後に、県大会決勝で対戦した育英の土井君が来てくれており、「頑張れよ！」と声を掛けてくれたことは「生涯の思い出」となると話されました。

次号では、高校37回生を中心に夏の全国大会に出場された思い出を中心に掲載させていただきます。(文責・事務局)



優勝報告会

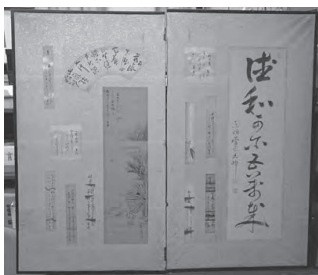
## 2021年度決算報告 (2021年4月1日～2022年3月31日)

1 一般会計				(単位:円)
(収入の部)		予算額	決算額	増 減
1	2020年度繰越金	1,622,551	1,622,551	0
2	2021年度年会費	7,350,000	7,432,500	82,500
3	財政調整基金より	2,500,000	2,500,000	0
4	雑収入(ご寄付、銀行利息等)	27,449	265,371	237,922
合 計		11,500,000	11,820,422	320,422
(支出の部)		予算額	決算額	増 減
1	会議費(総会・理事会・本部役員会等)	420,000	258,093	△161,907
2	事業費(母校・学年等への支援・広報活動等)	7,540,000	6,437,611	△1,102,389
3	事務費(事務局・維持管理等)	3,120,000	2,978,842	△141,158
4	100周年積立金	400,000	400,000	0
5	予備費	20,000	0	△20,000
合 計		11,500,000	10,074,546	△1,425,454
収入合計11,820,422円－支出合計10,074,546円＝収支差額1,745,876円(次年度繰越)				
2 基金				(単位:円)
		(収入の部)	(支出の部)	
①	財政調整基金			
	2020年度繰越金	511,957		
	在校生納入	2,802,000		
	一般会計へ繰出		2,500,000	
	次年度繰越金		813,957	
合 計		3,313,957	3,313,957	
②	100周年記念事業特別基金			
	2020年度繰越金	1,800,000		
	2021年度積立金	400,000		
	100周年事業会計へ繰出		1,000,000	
	次年度繰越金		1,200,000	
合 計		2,200,000	2,200,000	
3 100周年記念事業ご寄付総額		1,336,454		
4 監査報告				
2021年度の決算について、会計帳簿および関係書類を監査照会した結果、適正に処理されていることを確認しましたので報告いたします。				
2022年4月5日				
		監査	草川 雄二	印
		監査	竹内 信六	印

## 2021年度事業報告 (2021年4月1日～2022年3月31日)

月	日	内 容	月	日	内 容
4	10	第1回本部役員会	10	23	自彊セミナー「全統記述模試」(3年生)
		会報第29号第3回編集委員会		30	第2回理事会
	24	第1回理事会(コロナ感染拡大のため延期)	11	20・21	自彊セミナー「全統共通プレテスト」(3年生)
	24	会報第29号第4回編集委員会	1	23	同窓会役員等新年懇親会
6	10	会報第29号発行			(コロナ感染拡大のため中止)
	12	第2回本部役員会	2	28	第74回生同窓会入会式
	26	2021年度総会中止(コロナ感染拡大のため中止。理事会構成員で書類票決)	3	5	第4回本部役員会
7	10	第1回自彊セミナー運営委員会		5	会報第30号第1回編集委員会
		(コロナ感染拡大のため大学見学中止決定)		26	第3回理事会
9	11	第3回本部役員会		26	会報第30号第2回編集委員会
	11	第2回自彊セミナー運営委員会			第72回生「二十歳の集い」
		(全統模試実施を決定)			(コロナ感染拡大のため延期)

安藤 豊	併設2 中西 豊	併設1 吉田 涉	田村 啓	中河 啓	藤野 昌也	能勢 昭二	岸本 英夫	中本 由夫	中尾 和一	藤波 潔	小林 章	山田 茂	中内 宏之	竹内 敏弘	中分 敏弘	中田 実	中島 均	有馬 均	和佐田 謙三郎	荒田 謙三郎	旧職員 岸本 謙三郎	お悔み	
中島 山	金山 居	小池 孝	長田 久美子	三村 康夫	川西 勝美	高橋 輝一	岡田 博	三木 和	堀江 麻紗子	武徳 雄一	栗山 義弘	荒木 達	米田 達	福山 善雄	小森 幸治	山崎 俊彦	池田 英彦	井上 健	高木 三朗	高橋 三郎	橋本 三郎	岸本 謙三郎	小島 悦次
西阪 千鶴子	高松 典子	高橋 幸夫	岩本 大紀	渡辺 洋一	高丸 邦子	丸山 邦子	矢野 雄	杉野 南	杉井 康弘	芝山 弘	栗山 富久夫	高沖 晴子	佐々木 伸一郎	野村 昭	内田 襄	高野 武司	磯野 博基	野垣 町子	伊川 正敏	北野 京	寺野 宗子	財田 英輔	高橋 恒夫
福を祈り致します。 (4月末日までの別明分 を折ります。)	今川 純也	高宮 久越	小倉 清典	朝倉 彰	高木 恭一	高木 雅行	仁賀奈 千代栄	岩田 千代栄	小谷 良子	坂上 雅子	嶋谷 弘一	高藤 井光彦	藤井 光彦	梅井 澄夫	藤井 澄夫	高木 次男	永井 裕子	浜崎 義仁	永井 由美子	高木 正寛	大西 賢三郎	吉本 恒夫	高橋 恒夫



山内佐太郎先生へのお手紙

会長 和田 直樹

100周年記念事業の一環とした資料館の充  
実・整備事業を行っております。昨年も会報に  
て、2回生45回生まで女子生徒が着用した制  
服の寄贈をお願いしましたところ、お2人の方  
からご連絡があり、大切に保管されていた制服  
を譲りうけることができました。資料館で保管  
展示させていただきます。  
過日、山内佐太郎初代校長の奥様が、保管さ  
れておられた山内校長へのお手紙を資料館に於  
いてお預かりすることとなり、西校長先生が足  
を運ばれました。山内先生を偲ぶ貴重なお手紙、  
有難うございました。この場を借りまして、ご  
家族の皆様にも厚くお礼申し上げます。



田中さんより寄贈された陣羽織

また、昭和8年、夏の甲子園大会での延長25  
回を記念してつくられた「陣羽織」を明石市鍛  
冶屋町居住の田中さんより、資料館にご寄贈い  
ただきました。この法被には出場した選手全員の  
署名がされており、明中・明高の歴史上、大変  
貴重なものと言えます。ご寄贈に対し、心からお  
礼申し上げます。  
明中・明高の歴史をまとめた資料館を充実さ  
せるべく、整備委員の方を中心に保存、展示の  
方法を工夫いたしております。お手元に、母校  
に関する資料がございましたらご寄贈いただけ  
ば有難いです。現在、高校46回生・57回生の方  
がありましたら、寄贈いただきたいと思っていま  
す。よろしくお願いいたします。

「資料館への寄贈」お礼とお願い

## 2022年度同窓会役員

## 会 長

和田 直樹(高28回)

## 副会長

安藤 勉(中18回)  
加護谷榮章(高7回)  
伊川美智子(高16回)  
佐々木卓郎(高18回)  
鷺森 智美(高38回)

## 常任理事

今村意一郎(高16回)  
長塩 知子(高18回)  
藤久 達美(高23回)  
南谷 雄司(高23回)  
竹林 秀野(高28回)  
福本 明彦(高30回)  
吉田 信次(高31回)  
川端 大造(高38回)

## 監 査

草川 雄二(高11回)  
竹内 信六(高13回)

## 顧 問

西 茂樹(校長)  
秋山 泰治(高1回)  
松本 ヤス(高2回)  
清水 正孝(高3回)  
浅田 弘子(高6回)  
茨木 智(高8回)  
米澤 淑介(高12回)  
三浦 宏(高14回)  
松本嘉代子(高16回)

## 学年理事

安藤 勉(中18回)  
(高1回)  
(高2回)  
桃尾 行男(高3回)  
瀬上 初美(高3回)  
宇治原三貴(高3回)  
黒田 克己(高4回)尾上てる予(高5回)  
小野 戎井 皓二(高5回)  
密谷 和正(高6回)  
石井 博美(高7回)  
藤井 清隆(高8回)  
嶋崎 晴夫(高8回)  
堤 明(高9回)  
小山 孝治(高9回)  
藤原 博(高10回)  
柳瀬 弘(高11回)  
平野 武彦(高12回)  
渡邊 正弘(高13回)  
寺田 三郎(高14回)  
中本栄美子(高14回)  
津野 弘子(高15回)  
津野 嘉藤 弘之(高15回)  
岡本 建二(高16回)  
奥田 寛(高17回)  
池田 康之(高17回)  
佐々木卓郎(高18回)  
岩澤 武(高19回)  
井上 利夫(高19回)  
功一(高19回)  
伊藤 秀子(高19回)  
池田 隆行(高20回)  
村松 克行(高20回)  
藤丸 達美(高21回)  
藤内 満(高22回)  
吉岡 保(高23回)  
田中 雅子(高23回)  
鶴岡 昌代(高23回)  
河合 昭彦(高24回)  
河合 嘉(高24回)  
瀬川勝太郎(高25回)  
熊谷 喜義(高25回)  
柏木 典子(高25回)  
熊谷 千寿(高25回)  
上山 宏(高26回)  
永井 邦治(高27回)  
八木 雅史(高27回)  
藤本 英子(高28回)  
木下佳代子(高28回)小椋 利雄(高29回)  
前田 豊(高29回)  
福本 明彦(高30回)  
高橋 秀徳(高30回)  
内橋美世子(高30回)  
吉田 清隆(高31回)  
三木 翔理(高32回)  
宮脇 貢(高32回)  
長野 雅三(高33回)  
和三(高33回)  
松本 荒牧 弘美(高33回)  
堀田 健一(高34回)  
田方 宏幸(高34回)  
井上利可子(高35回)  
石下 景教(高36回)  
伊原 洋(高37回)  
宮本 淳子(高37回)  
黒木 明弘(高38回)  
西川 昌宏(高38回)  
廣中 芳範(高39回)  
北山 力也(高40回)  
梅田 光一(高41回)  
谷口 正晃(高42回)  
高雄 正臣(高43回)  
稲葉 展(高44回)  
本田 学(高45回)  
水野あつ子(高45回)  
戴内 健吾(高46回)  
西山 武(高47回)  
澤田 雅文(高48回)  
(高49回)  
(高50回)  
芝 純司(高51回)  
木村功太郎(高52回)  
小島 一郎(高53回)  
(高54回)  
橋本 真彰(高55回)  
村中 裕一(高56回)  
西角 千尋(高57回)  
山本 芳行(高58回)  
藤本 匠(高59回)  
竹内 裕貴(高60回)和田 亮磨(高61回)  
西山 直幸(高62回)  
中下 将太(高62回)  
小柴 智弘(高64回)  
櫻井 拳人(高65回)  
山内 圭哉(高66回)  
星野 優輝(高67回)  
平田 茉有香(高67回)  
松村みなみ(高68回)  
山澤 勇登(高68回)  
前山 颯太(高69回)  
豊田 萌夏(高69回)  
西岡 美裕(高70回)  
木戸健太郎(高70回)  
津崎 直暉(高71回)  
工藤 優綺(高71回)  
前山 颯唯(高72回)  
有原 夢乃(高72回)  
吉川 大和(高73回)  
上月 彩未(高73回)  
服部 直弥(高74回)  
竹本 滯(高74回)

## 兵庫県庁支部

神足 孝明(高33回)

## 神戸市役所支部

## 明石市役所支部

前田 豊(高29回)

## 淡路支部

## 東京自彊会

佐々木知子(高25回)

## 美術科支部

鷺森 智美(高38回)

## 事務局

木下 裕一(高15回)  
吉田 眞司(高21回)  
寺口 吉行(高34回)  
上田 修平(高56回)  
荒田真友子(高60回)

## 編 集 後 記

自彊不息の取材に森本隆也氏、会社訪問で松本好雄氏をお尋ねした。お二人とも高校8年生で今年85歳。10歳年下の私などよりお元氣そう！

森本氏のお話の中にある、明石海峽大橋の建設中に発生した阪神淡路大震災は私にとっても大事件でした。阪神5時46分、轟音とともに家が大きく長く揺れ家具などが倒れ、家族とともに食卓の下で揺れが取まるのを待ちました。幸い我が家はなんとか持ち堪えましたが、そのとき頭に浮かんだのが天文学者、明石城、それに明石海峽大橋は大丈夫なのか。2階以上がり南を見ると橋の支柱が2本立っているのが見えた。また、天文学館もお城もいつも通りの姿が確認できた。良かった。その後の報道で橋のスペンは僅かに延びたものの技術的には問題ないとのことを知り、門外漢の私もなせか胸をなで下ろしたものでした。

きしろの松本氏は、皆さんには競走馬メイショウ○○の馬主と紹介した方が分かりやすいかも。しかし約40年間、船のエンジン製造業に携わっていた私には機械加工技術の雄きしろの工場を見せ頂き、また会長としての松本氏に直接お話しを聴く機会が得られたことが嬉しかった。きしろ殿は伝統的機械加工業界のリーダーにとどまらず、将来を見据え脱炭素社会に向けて進まれる企業姿勢に感銘を受けると同時に、松本氏のお話から船舶の将来性を確信し嬉しく思いました。

(卓)

# 創立 100 周年に向け情報を発信していきます



住所変更もスマホから簡単に



陣羽織寄贈を伝える「スポットライト」

自癒会  検索

## \*より充実した同窓会の窓口を目指します\*

☆自癒会の様々な事業を HP でいち早く報告

速報性を生かし、同期会や会議の様子をお知らせします

☆同窓会報「自癒会だより」もスマホで持ち歩き

思いついた時にすぐに見られます。スマホの画面でも OK！

☆面倒な住所変更を手元のスマホから簡単に

転居されたら同窓会へも住所の変更をお知らせください

<https://dousoukai.site/meikou-jikyokukai>

スマホから右の QR コードを読み込んでください



## 事務局よりお願い

- ① 転居されたときには新住所をお知らせ下さい。
- ② お亡くなりになった方の連絡については、間違い防止のため、ご逝去の年月日を必ずお知らせ下さい。
- ③ 学年全体の同窓会を開催される場合、支援金をお渡ししますので、代表の方は事務局へご連絡をお願いします。
- ④ 事務局が常駐でないため、電話が繋がらないことも多いと思います。留守番電話にお名前と電話番号のメッセージを入れて下さい。後日事務局よりお電話致します。
- ⑤ 同窓会運営の基礎となる年会費の納入に、ご協力をお願いします。



# 昔も